



雲南市各第三セクター等の業務内容と経営状況報告

平成18年度末現在、市が出資または出捐する法人(第三セクター・財団法人)は8法人あり、このうち、地方自治法第243条の3第2項の規定により、市議会に報告した市の出資割合が2分の1以上である6法人について、平成18年度の経営状況をお知らせします。(業務内容は、解散した法人を除き、平成19年度のものに記載しております。)

第三セクター等名称
① 設立年月日
② 資本金額(市の出資出捐割合)
③ 業務内容

株式会社遊学

- ① 平成6年4月1日
- ② 3千万円(80%)
- ③ 「古代鉄歌謡館」、「大東公園」、「加茂文化ホールラメール」、「加茂B&G海洋センター」、「加茂中央公園」、「木次経済文化会館チエリヴァホール」、「三刀屋文化体育館アスパル」の管理運営。各施設におけるスポーツ・文化事業の企画運営。



売上高	1億8,100万4千円
当期純利益 ^{※1}	12万5千円
利益剰余金 ^{※2}	△7万2千円

売上高には、指定管理料1億5,820万円(税込)を含む。



木次道の駅株式会社

- ① 平成13年4月5日
- ② 2千万円(51%)
- ③ 道の駅「さくらの里きすき」の管理運営。

売上高	2億254万7千円
当期純利益	430万7千円
利益剰余金	3,544万4千円

売上高には、指定管理料119万7千円(税込)を含む。



木次都市開発株式会社

- ① 平成2年4月2日
- ② 1千3百万円(86.2%)
- ③ 「おろち湯つたり館」、「サンワーク木次」、「木次健康の森」、「木次バスセンター」の管理運営及び木次三刀屋地域市民バスの運行等。

売上高	1億6,152万5千円
当期純利益	△1,148万6千円
利益剰余金	△632万3千円

売上高には指定管理料等委託料6,523万2千円(税込)、補助金40万円を含む。



株式会社みとや

- ① 平成12年1月7日
 - ② 3千万円(58.3%)
 - ③ 「明石緑が丘公園」の管理運営。
- ※平成19年3月31日をもって解散しました。



売上高	5,406万7千円
当期純利益	△470万4千円
利益剰余金	△401万2千円

売上高には、指定管理料2,518万8千円(税込)を含む。

財団法人三刀屋農業振興センター

- ① 平成10年11月24日
 - ② 3千万円(100%)
 - ③ 「三刀屋総合営農指導拠点施設」の管理運営、花き等の栽培販売等。
- ※平成19年3月31日をもって解散しました。



収入	2,601万5千円
収支差額	△170万3千円
次期繰越収支差額 ^{※3}	114万1千円

収入には、補助金889万8千円を含む。

財団法人鉄の歴史村地域振興事業団

- ① 昭和63年11月16日
- ② 6千万円(50%)
- ③ たたら製鉄に関する文化事業の企画運営、「鉄の歴史博物館」、「鉄の未来科学館」、「山内生活伝承館」、「木の国文化館」及び「食の幸ふるさと屋」の管理運営。

収入	3,778万5千円
収支差額	△99万3千円
次期繰越収支差額	142万4千円

収入には、指定管理料2,609万2千円(税込)、補助金127万8千円を含む。



このほか、市の出資割合が2分の1以下である第三セクターは、次のとおりです。

株式会社ダイト

- ① 昭和63年3月11日
- ② 3千万円(36.9%)
- ③ 「大東健康ランドゆとりの里」、「大東農村環境改善センター桂荘」、「大東憩いの家かじか荘」、「大東ふれあいパーク」の管理運営。



株式会社吉田ふるさと村

- ① 昭和60年4月1日
- ② 6千万円(33.3%)
- ③ 農産加工品の販売、広域路線バス・吉田地域市民バスの運行、国民宿舎「清風荘」の管理運営及び水道施設工事等。



雲南市では、今年度から市民代表や有識者などで構成される「第三セクター等経営評価委員会」を設置して、法人の決算資料等の分析やヒアリング調査を踏まえ、定期的な点検評価を実施しています。市民の皆様の声を反映した、より一層効果的かつ効率的な運営となるよう努めていきます。

政策企画部政策推進課 ☎0854-4011011